

事後評価シート

【評価年月】 平成17年 4月

【主管課・室】 廃棄物・リサイクル対策部浄化槽推進室

【評価責任者】 浄化槽推進室長 鎌田 光明

施策名、施策の概要及び予算額

施策名	- 6 - (6) 浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進
施策の概要	し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽は、排出源で生活排水等を処理するものであり、環境保全上効果的であるだけでなく短期間にかつ容易に設置できる等の特長を有している。人口散在地域において効率的な生活排水対策を推進するため、浄化槽の整備を推進している。
予算額	25,659,246 千円

目標・指標、及び目標の達成状況

目標	河川や湖沼等の水質汚濁の大きな原因となっている生活排水の対策を推進し、健全な水循環を確保する。				
指標	H13年度	H14年度	H15年度	目標値	H19年度
浄化槽の整備率(%)	7.6	7.8	8.1		11
達成状況	平成15年度末の浄化槽による汚水処人口普及率は8.1%となっており、前年度より上昇している。				

下位目標1	浄化槽を整備促進する。				
指標	H15年度	H16年度	H17年度	目標値	H - 年度
浄化槽市町村整備推進事業の実施市町村数(市町村)	163	217	218		-
達成状況	浄化槽市町村整備推進事業を実施している市町村も39都道府県217市町村から41都道府県218市町村となり、取り組む市町村数も年々増加している。				

評価、及び今後の課題

評 価	<p>【必要性】(公益性、官民の役割分担等)</p> <p>公共水域の保全に対しては公的な対応が必要であり、水質汚濁の大きな要因となっている生活排水対策のための汚水処理施設の整備が重要である。</p> <p>汚水処理施設の方策としては、集合処理、個別処理の方法があるが、人口散在地域においては個別処理の浄化槽が効率的であり、その整備が必要である。</p> <p>【有効性】(達成された効果等)</p> <p>浄化槽は、水質改善の発現が速やかなこと、排出源で生活排水等を処理すること、水量が確保され河川等の流量が維持されることなどから、浄化槽の整備率の上昇と浄化槽市町村整備推進事業に取り組む市町村数の増加により、生活排水が適正に処理され、健全な水循環が推進されている。</p> <p>平成15年度末の汚水処理施設整備率に占める浄化槽による汚水処理人口普及率は8.1%となっており、前年度より上昇している。</p> <p>浄化槽市町村整備推進事業を実施している市町村も39都道府県217市町村から41都道府県218市町村となり、取り組む市町村数も年々増加している。</p> <p>【効率性】(効果とコストとの関係に関する分析等)</p> <p>汚水処理施設の整備については、地域に応じた効率的・効果的な整備を行うことが重要である。</p> <p>今まで汚水処理施設整備が進んでいなかった人口散在地域においては管渠工事を必要としない浄化槽の活用による整備が経済的・効率的である場合が多いと考えられる。</p> <p>整備の期間も短期間であり、投資効果がすぐ現れる。</p> <p>浄化槽市町村整備推進事業(PFI事業)において、その具体的な整備・維持管理にあたっては民間業者の活用を図っている。</p> <p>< 目標に対する総合的な評価 ></p> <p>浄化槽は、水質改善の発現が速やかなこと、排出源で生活排水等を処理すること、水量が確保され河川等の流量が維持されることなどから、浄化槽の整備率の上昇と浄化槽市町村整備推進事業に取り組む市町村数の増加により、生活排水対策が適正に処理され、健全な水循環が推進されている。</p> <p>平成15年度末の汚水処理人口に占める浄化槽による汚水処理人口普及率は8.1%となっており、前年度より上昇している。</p>
-----	--

	<p>浄化槽市町村整備推進事業を実施している市町村も39都道府県217市町村から41都道府県218市町村となり、取り組む市町村数も年々増加している。上記のことから、本施策による生活排水対策は、有効であると考えられるが、生活排水対策の遅れている中小市町村において、市町村が設置主体となる市町村設置型事業の一層の普及を図り、浄化槽の整備を促進することにより、生活排水対策を推進し、健全な水循環の確保を図る必要がある。</p>
今後の課題	<p>下水道、農業集落排水事業、浄化槽のそれぞれの特性、効果、経済性等を十分配慮し、地域の特性にあった整備を迅速に推進していく必要がある。市町村が主体となって実施する浄化槽市町村整備推進事業の一層の推進を図るとともに、維持管理の適正化に向けた取組を強化する必要がある。</p> <p>平成17年度から農林水産省、国土交通省、環境省所管の污水处理施設の整備を相互に事業進度を調整しながら整備することを可能とする「污水处理施設整備交付金」を創設することとしており、効率的な污水处理施設の普及促進のための取組をより一層推進していく必要がある。</p> <p>現在設置されている浄化槽のうち、8割弱が単独処理浄化槽であり、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換をさらに促進する必要がある。</p> <p>改正浄化槽法の円滑な施行を図るとともに、浄化槽の維持管理を適正に進める必要がある。</p>

政策への反映の方向性

反映方向分類	理由の説明
1	<p>地域の特性にあった污水处理施設の整備を迅速に行い、生活排水対策を推進するため、浄化槽市町村整備推進事業の一層の推進等、事業の拡充を図るとともに、浄化槽の維持管理を適正に進める必要がある。</p>

特記事項

<p>・浄化槽法においては「合併処理浄化槽」という言葉は使われていないため、施策名を「合併処理浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進」から「浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進」に変更した。</p>
--

【別紙】

事務事業シート

施 策 名	- 6 - (6) 浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進	
事務事業名	事業の概要	主な関連予算事項、税制等
ア．浄化槽設置整備事業の実施	・浄化槽の設置を行う者に対し、その費用の一部を補助する制度。	・浄化槽設置整備事業 (14,966百万円)
イ．浄化槽市町村整備推進事業の実施	・市町村自らが設置主体となって浄化槽の面的整備を行う事業に対し、国庫補助を行う制度。	・浄化槽市町村整備推進事業 (10,693百万円)

【別紙】 政策効果把握の手法及び関連指標

(施策名) -6-(6) 浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(指標名) 浄化槽の整備率	%	8.1 (H15年度)	11 (H19年度)
指標の解説(指標の算定方法) 浄化槽整備人口計 / 総人口 1,030万人 / 12,682万人			
評価に用いた資料(インターネットにて公開) 平成15年度末の汚水処理人口普及状況について	特記事項(外部要因の影響など) -		
目標値設定の根拠 廃棄物処理施設整備計画			

(施策名) -6-(6) 浄化槽の整備によるし尿等の適正な処理の推進 (下位目標1)	単位	現況値 (時点)	目標値 (目標年次)
(指標名) 浄化槽市町村整備推進事業の実施市町村数	市町村	218 (H17年度)	- (-)
指標の解説(指標の算定方法) 当該年度の当初内示時の実施市町村数の合計			
評価に用いた資料(インターネットにて公開) 平成15年度末の浄化槽の普及状況について	特記事項(外部要因の影響など) -		
目標値設定の根拠 -			